

令和4年度 盛岡南高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 教育のため、何よりも自分そして家族のために、健康第一 ～

盛岡南高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

- ・ 職員全体の昨年度の月平均時間外勤務時間は約38.2時間である。
- ・ 職員全体の昨年度の年次休暇取得の平均は14日である。
- ・ 部活動週休2日について生徒・職員が一体となって取り組んでいる。
- ・ 高体連等の役員が多く、生徒引率以外の出張も多い。

2 目指す姿

- ・ 職員一人一人が、職場の一体感を感じながら効率的に業務に取り組んでいる。
- ・ 管理職が日頃から、職員に対し研修を奨励し、用務の効率化を進めている。
- ・ 職員が、自己の充実のための時間を十分に確保できている。
- ・ 主体的な学びの促進を意識した用務の効率化を進めている。

3 取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 学校閉庁日は、完全休養に努めます。
- ・ 管理職が、職員個々の健康診断の結果について配慮し受診が必要な職員への積極的な声掛けをします。
- ・ 部活動指導の振替や「特割」等による勤務時間調整を図ります。
- ・ 管理職が、特休や子育て支援制度の周知を図り休暇取得を奨励します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 効果的な授業準備のために、ICTを活用し、教材や指導案の共有化を促進します。
- ・ 部活動の週休2日体制を進めます。
- ・ 校務分掌内の負担の平準化、および業務の効率化を進めます。
- ・ 業務の共有ファイル化、データ化による事務負担の軽減を図ります。
- ・ 学習評価や分析には、「高校生のための学びの基礎診断」を活用し、作題や採点業務の軽減を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 部活動指導員や外部コーチ等を委嘱し、職員の部活動指導における負担を軽減させます。
- ・ 就業支援員等による進路資料等の整理や就職面談指導を行い、職員の負担を軽減させます。
- ・ 県派遣カウンセラーのほか独自でカウンセラーを委嘱し、生徒の教育相談の環境を整えます。

4 目 標

- ・ 月100時間以上が2か月連続する職員 → 0人
- ・ 週休日の部活動指導従事時間を除いた時間外在校等時間、月45時間超が2か月連続する職員 → 0人
- ・ 職員の年次の取得 10日以上取得 → 100%

令和4年5月23日
岩手県立盛岡南高等学校長 阿部 圭次

(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

【プランの目標】

目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を令和3年度からゼロにする。

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間		
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超			

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。